

校長室の窓から 186

080205 冬の俳句コンクール記念品授与

冬の俳句コンクールの入賞作品が決まりました。今日は入賞した子供たちに校長室で記念品を授与しました。

昨日の校内放送で入賞作品を紹介しましたが、そのときから、入賞者の子供たちは記念品授与を楽しみにしていたようです。

記念品を渡した後、自分の俳句について解説をしてもらいました。



「ゆきぶとん ねっころがったよ うれしいな」
この俳句を詠んだ 1 年の島田さんは、グラウンドの新雪の上に寝っ転がったときのうれしい気持ちを書いたとのこと。にっこにこでそのときの気持ちを思いだして答えてくれました。

「大みそか 夜おそくまで 起きてやる」
この俳句を詠んだ 5 年の橋本さんは、毎年12時まで起きていようと思うけれど、いつも途中で眠くなってしまうそう。昨年末に人生で初めて夜12時まで起きていることができたと話してくれました。

「大晦日 年越しのとき ジャンプする」
この俳句を詠んだのは 6 年の関根さん。最近の子供たちは、年越しの瞬間に跳ぶんですね。入賞者の半分の子供たちが「自分もジャンプした」と答えてくれました。なんと、今どき～。

入賞者の俳句は、児童玄関前にしばらくの間掲示します。

学習参観の折に、ぜひご覧になってください。



愛と信の仲よしこよし

中太閤山小学校長 堀かおり